



School Volunteer KSSVCだより

Kobayashi Support Center

小林市教育委員会社会教育課 KSSVC 事務局 (TEL22-7912)

学校向け



あけまして
おめでとうございます

「子どもたちから元気もらいました」と、活動に参加した方々からよく聞きます。私たちも、訪問の度に、学校や地域の皆さんからたくさんの元気もらっており、そのお返しができるような取材と広報を心がけたいと思っています。

今年も、よろしくお願いします

紙屋中 しめ縄づくり

1年生

紙屋中学校



総合的な学習の時間に、しめ縄を作りながら世代間交流を行いました。一緒に活動したのは、紙屋校区社会福祉協議会の皆さん。

縄をなつたことがない生徒たちは苦勞していましたが、優しく教えていただき、立派なしめ縄が出来上がりました。心を込めて作ったしめ縄で迎えた令和5年。明るく健康な一年になりますように。

細野小

ふれあい登校



月に1度、地域の皆さんが子どもたちと一緒に登校します。細野まちづくり協議会の協力で、数年前に始まりましたがコロナで中断。1年ぶりに再開しました。

この日はあいさつ運動も、いつも参加している細野中生がテスト期間中でしたので小学生だけで実施。のぼり旗の周りには、元気なあいさつの声が響いていました。

コロナ以前は、まちづくり協議会と包括支援センターが企画して、登校後に健康相談会や認知症カフェなどを開き、地域住民の交流の場にもなっていました。普通に交流できる日が一日も早く来てほしいものです。

5年生 稲刈り



協力：細野まちづくり協議会・JA こばやし

鎌で刈り取った後は、足踏式脱穀機を体験。コンバインでの作業も見学し、刈取り・脱穀・収穫までの工程を教えてくださいました。コンバインの構造の説明では、カバーを外すと、内部に脱穀機のドラム、籾を選別する「とうみ」や「ふるい」と同じ働きをする装置があり、子どもたちは、手作業を機械化した仕組みに感心していました。

4年生 そばの収穫



9月にまいて11月に収穫

ハンドルを回して…



刈取り後、「めぐり棒」で叩いてそばの実を落とし、風で葉やちりを吹き飛ばす「とうみ」を使って選別しました。

【感想】 ◆ めぐり棒を回すのが難しかったです。でも、コツがわかると上手にできるようになりました。

◆ 鎌を初めて使いました。難しかったけど、ケガをしないように気をつけて刈り取りました。

【先生より】 たくさんの地域の方に協力していただきました。皆さんも、大人になって地域のために働ける人になりたいですね。

協力：細野地区営農組合・JA こばやし



そばの実



野尻中 薬物乱用防止教室



薬物に誘う先輩は、もう、あなたが知っている先輩ではありません

講師は溝俣さん(小林警察署生活安全課)。薬物の危険性と検挙状況の説明後、身近に迫る誘惑に対して、きっぱりと断る方法を動画も交えて紹介してくださいました。

【勧誘の常套句】 ダイエットの薬だよ・試してみる・試供品・タダであげる・頭がすっきり、勉強がはかどるよ・みんなやっている・1回くらいなら大丈夫・私が保証するから…

裏に続きます。

【こんな危険も ～「運び屋」にされないために…】

- ◆ 不用意に、他人から荷物やお土産を預からない。
- ◆ 「運ぶだけで報酬を払う」というような、うまい話に乗らない。
- ◆ 「1回だけなら捕まらない」と、安易に考えない。



【お礼の言葉】薬物の危険性は理解していましたが、一般の人に増えていることに驚きました。薬物には絶対に近づきません。

小林小 味覚の授業

5年生

すっばい！



地井シェフ(ここやっどこばやし)

味覚がいちばん敏感になるのは12歳頃だそうです。そんな時期の子どもたちが、味の基本となる五味(塩味・酸味・苦味・甘味・うま味)について、地井シェフから教えていただきました。子どもたちは、それぞれの味や2～3種類を合わせたにおいを嗅いだり、味見をしたりしながら、味の奥深さ、味わうことの楽しさに触れていました。

味見をしたのは… 塩・酢・コーヒー・砂糖・だし・グミ

西小林小 社会科見学

3年生



この機械で、物をはさんだり、こじ開けたりします

手錠です

中央消防署と小林警察署を見学。消防署では、消防車や救急車、特殊な道具の説明を聞き、119番通報の体験もしました。たくさん質問をしてたくさん学びました。

【消防士になるには】「ご飯をいっぱい食べる、しっかり寝る、家の人の言うことを聞く」です。

警察署では、警察官の仕事についてのお話の後、パトカーと白バイに乗り、盾や警棒、手錠も持たせてもらって、子どもたちは大喜びでした。

【いちばん大切な仕事は】「人の命を守ること」です。人を助けるために働けるので、警察官になりました。



2年生

2年生は市立図書館へ。4つのグループで説明を聞き、館内を見て回りました。たくさんの質問の中から…

【うれしいこと】紹介した本を借りてくれた時。「おもしろかったです」と言ってくれた時。【悲しいこと】破れたり落書きされた本が返ってきた時。【読書の習慣をつけるには】年齢に関係なく、読みたい本を読んでほしいです。

【お礼の言葉】お母さんが図書館に来ていたと聞いていたので、今日、来てうれしかったです。

幸ヶ丘小 花いっぱい運動



1人2鉢育てます。



水やりをして終了

卒業式と入学式の会場を飾る花の苗を植えました。教えてくださったのは学校用務員の宇都さんと坂元さん。ボラ土と土を入れた鉢に、「ビオラ」と「ペチュニア」を1鉢ずつ丁寧に植えました。これから全員で世話をします。

東方中 生きる力を育む健康推進事業



【演題】成長期におけるスポーツ障害

県の事業の一環です。講師は医師の竹之内剛さん(前原病院)。生徒たちは、今後のスポーツ活動に生かそうと、専門家のお話を真剣な表情で聞いていました。

【こんなお話が…】 ◆ 成長期は、「骨や筋腱、靭帯組織に弱い部分がある」ことや「成長度合いに個人差が大きい」が、練習や試合では同じ強度での活動量を強いられることからスポーツ障害が発生することも考えられます。小学生、高校生に比べると、中学生は骨折の割合が高いです。

- ◆ スポーツ外傷の応急処置は… RICE(ライス)処置
R(Rest) = 安静にし I(Icing) = 氷等で冷やし
C(Compression) = 包帯やテープで圧迫し
E(Elevation) = 患部を高い位置にあげる

◆ スポーツ活動を継続するには、休養日を少なくとも週に1～2日設け、週当たりの活動時間における上限は16時間未満とすることが望ましいです。(国際的研究より)

紙屋中 高妻神社の清掃

1・3年生



賽銭箱もきれいに

毎年、ほぜ祭り(収穫祭)の前に行っているボランティア活動です。「いつもお世話になっている高妻神社の清掃を、1・3年生17名で最後までしっかりやります」という代表生徒の力強いあいさつの後、境内、社務所、拝殿、トイレ、階段に分かれて実施。「来られる方が気持ちよく参拝できるように」という思いを込めて協力して取り組み、1時間ほどできれいになりました。

最後に、宮司さんに「二礼二拍手一礼」のマナーを教えてもらい、全員で参拝して活動を終わりました。



School Volunteer KSSVC だより

Kobayashi Support Center

小林市教育委員会社会教育課 KSSVC 事務局 (TEL22-7912)

学校向け

年齢を重ねる度に「時が経つのが速い」と感じます。調べてみると、(説の一つですが)「若い時は、新しい体験が、その都度記憶に刻まれ、時間が長く感じられる。しかし、何度も同じことを繰り返していると、脳は繰り返される行動を一つの記憶に集約し、それによって時間が短縮されたと感じる」のだそうです。

そして、「変化のある毎日を送ることで、ゆっくりと進む時間を得られる」のだとか。しかも、大きな変化ではなく、散歩をしたり友人と会話をしたりという小さな変化でも効果があるということでした。

今年は、小さな変化を積み重ねて、なが〜い1年にできればと思っています。



野尻中 キャリア教育シンポジウム in 野尻



2年生

7名の社会人を迎え、前半は仕事や学生時代の話、パネラー同士及び生徒との質疑応答。後半はグループでいろいろな会話を楽しみ、交流を深めました。

【パネラー】① 外山玲奈さん(小林市シーセールスプロモーター・ANA キャビンアテンダント) ② 富永征駿さん(牛商丑力(ぎゅうりき):畜産・牛肉の販売) ③ 大出水陽香さん(シンガーソングライター) ④ 永野叶絵さん(ホテル・パン店経営) ⑤ 原田英治さん(ラーナーズミート代表:英語講師) ⑥ 藤田将太さん(パーソナルコンディショニングジム Fuji) ⑦ 池上(いけうえ) 翔さん(ニシモロメディア「ピ」編集長:動画の企画・公開)

【パネラーの言葉】① 好きになったことをとことんやってほしい。何が仕事に繋がるかわかりません。② 学校で頑張った人は、社会に出てから時間の使い方が上手です。③ 自分の心に素直に。心と身体を大切にしてください。④ 「疑う」「調べる」「試す」を大切に。人のせいにならずに、自分を信じてください。⑤ 目の前のことを一生懸命やると、将来に繋がります。⑥ 自分で決めたことにネガティブにならないように。⑦ 動機に正解はありません。やりたいことをやろう。(言葉は上の氏名順です)

【お礼の言葉】「辛いことも一生懸命続ければ結果が出る」という言葉が心に残りました。目の前のことに集中して生活したいと思います。



校外学習

永久津小 3年生

血が出ています



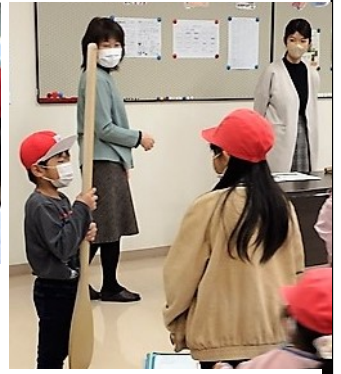
水が2トン入っています

【中央消防署】消防車や救急車の役割や装備、最初に通報を受ける指令室の働きについてのお話を聞きました。丁寧な説明と119番体験を通して、私たちの暮らしを守るために、日々、訓練や仕事に励んでいる消防士さんたちについて詳しく知ることができました。



野尻小 2年生

600人分作っています



【野尻学校給食センター】所長の京保さんの案内で調理の様子を見学した後、栄養士の八重尾(はえお)さんから、献立で気をつけていることについてお話を聞きました。たとえば、栄養のバランスを考えていろいろな食材を使います。「合言葉」は…「まごは(わ)やさしい」(まめ・ごま・わかめ・やさい・さかな しいたけ・いも)でした。



紙屋小 2年生



【市立図書館野尻分館】給食センターを見学した後で訪問。職員の采女さんと安影さんの案内で見て回りました。2万2731冊の本があり、その内、子どもの本は9,388冊だということ、図書館の仕事や行事のことなど、たくさんの質問に丁寧に答えてくださいました。読み聞かせの後、5冊まで、じっくり選んで借りました。

西小林中 さつまいもの収穫

2年生



技術・家庭科「栽培」の学習です。自分たちで苗を切り取り、植え付けた黄金千貫と紅はるかを収穫しました。教えて下さったのは木村農園の木村さん。生徒たちはいもの生長を喜びながら、熱心に作業をしていました。

収穫したさつまいもは、地域の方を講師に迎えての「郷土料理教室」で使われ、毎年、学年ごとに「がね」や「ねったぼ」、カレーなどを作っています。

西小林小 トニーさんと交流

3年生



テーマは、トニーさんの母国、「ドイツのクリスマス」。子どもたちは、食べ物、習慣、飾りなど、5つのジャンルから問題を選び、チームで話し合いながら答えていました。正解するたびに大きな歓声が上がリ、ドイツと日本の文化について楽しく学ぶことができました。

小林小 福祉体験学習【講話・ボッチャ体験】



4年生

講師は、進行性の肢体型筋ジストロフィーで車椅子の生活を送っている赤木一夫さんと、日々、献身的に支えている奥様。病気や仕事、趣味のお話の後、3学級対抗のボッチャで交流、大いに盛り上がりました。

【子どもたちへ】 ◆ 身体は不自由ですが、私の心は自由、決して不幸ではありません。妻の助けを借りてここまでやってこれました。 ◆ これからいろいろなことがあっても、希望をもちながら勉強やスポーツに挑戦し続けてほしいと思います。 ◆ 日本の宝である皆さんに「希望あれ! 栄光あれ!」

【お礼の言葉】 大変なこともあるけど、ボッチャや卓球バレーなど、いろいろなことに挑戦して、すごいと思いました。

三松中 花壇植栽活動

1年生



小林土木事務所と学校が協定を結び、平成22年から行われています。造園組合の皆さんのアドバイスを受けながら、パンジー、ビオラ、ポピー、約1,800株を植えました。これらの花は寒さに強く、春過ぎまで楽しめます。心を込めて植えた花たちが、「ホームセンターやまさき」の前を通る方々の目や心を和ませてください。

地域の団体が沿道の環境美化に取り組む際、土木事務所から苗や肥料を提供してもらえると、以前、土木事務所の方から聞きました。



東方小 校区内文化財バスツアー

6年生



井上さん(社会教育課文化財担当)

総合的な学習の時間。地域の文化財を見て回りながら、昔の人の思いや知恵を感じることができました。国指定の天然記念物「オオヨドカワゴロモ」の自生地も訪れ、東方の自然の豊かさにも触れました。訪れたのは…池の上里程標・二原の田の神(おつといたのかん。紙芝居にもなっています)・新田場の田の神 東方大丸太鼓橋・仲間の田の神・陰陽石

細野小・中

宮崎の未来を築く「キャリア教育」講演会



6年生・中学生・保護者・地域住民



「お帰りなさい脇元先輩」「世界にはばたけ脇元選手」の横断幕を、生徒会が作り、歓迎しました。

脇元華さん(女子プロゴルファー)を迎えての講演会。演題は「目標・行動・習慣・人格が夢を叶える」。「細野が大好きで、帰ってきた時は、小・中学校の近くをよく歩いています」が第一声。子どもの頃の思い出やプロになるまでの道のり、将来の夢について語り、質問にも答えて、たくさんのメッセージを送っていただきました。

【お話より】 ◆ 宮崎日大高校(ゴルフ部キャプテン)を卒業して、プロテストは3回目で合格しました。900人中、20位以内に入らないと合格できません。 ◆ ステップアップツアー(下部ツアー)での優勝はありますが、日本ツアーでの優勝を目指しています。今しかできないことをやり、後悔しないよう、夢に向かって毎日を過ごしています。

◆ これまで、父と祖母に支えられてきました。練習や塾の送り迎え、進学など、当たり前だと思っていたことが、そうではありませんでした。一人ではできなかったことです。皆さんも、時には、家の人に「ありがとう」って、言ってみましょう。 ◆ 夢がある人は、夢から逆算して日付を入れてみると、今やるべきことが見えてきます。 ◆ 努力を努力と思わずに続けると、「歯磨き」みたいに習慣になり、それが人格を作ってくれます。

「細野で大きくなって、素敵な大人になってください」の言葉で、お話は終わりました。





School Volunteer KSSVC だより

Kobayashi Support Center

学校向け

小林市教育委員会社会教育課 KSSVC 事務局 (TEL:22-7912)

今年度できなかった行事の実施方法などをしっかりと引き継いで、来年度からは例年通り実施できるようにしていきたい。



提出いただいた実践記録集の原稿に、このような記述がありました。数年前までは「教職員の異動に備えての引継」が課題としてよく挙げられていました。その後、あまり聞かなくなったので、活動が徐々に定着してきたのではと思っています。

しかし、この2~3年実施できていない行事も、地域や学校にはあることでしょう。コロナ後に備え、活動をどう引き継いでいくか考えておく必要があります。

東方中 輪太鼓踊りの披露 30人が心をつに...



行事が中止になり、なかなか披露する機会がなかった輪太鼓踊り。秋まつりに続き、駅伝・ロードレース大会前に、保護者や地域の皆さんに見ていただきました。

コロナで、保存会の方から直接教えていただく機会は減りましたが、3年生を中心に練習を重ねました。昔から残る「楽譜」も参考に取組んだという話も聞きました。

【東方輪太鼓踊り】豊臣秀吉の朝鮮出兵に加わった島津氏が、軍勢の士気を鼓舞するため、鉦や太鼓を打ち鳴らしつつ戦ったことが起源とされています。(県無形民俗文化財指定)

三松中 13歳のハローワーク 1年生



講師は8職種9名の社会人。自己紹介を兼ねた仕事の話やアドバイスの後、生徒たちは、希望するブースで、やりがいや苦勞など、さらに詳しく聞きました。

皆さんとの対話は、自分の将来の姿をイメージするきっかけになったことでしょう。



- 【講師のお話より】
- ① 廣津さん(市役所畜産課)「仕事のモチベーションは感謝されることです」
 - ② 上岡さん(ミライガタリ代表: Webサイトやスマホアプリの制作)「地元の魅力を発信できるのが楽しいです」
 - ③ 丸尾さん・宮内さん(自衛隊)「苦しい訓練ほど達成感があります」
 - ④ 比志島さん(CHILK共同代表: 古着店経営)「一度都会に出て様々な経験をするのもいいと思います」

- ⑤ 井原さん(マーケティング・アナリスト: 中小企業の支援)「これからは思考力が重要になってきます」
- ⑥ 小園さん(コゾノハウジング株式会社: 建設・造園)「作ったものが目に見えて残ること、お客様に感謝の言葉をもらうことの2つが仕事のやりがいです」
- ⑦ 佐藤さん(市役所地方創生課)「正解のない仕事でプレッシャーはありますが、達成した時の喜びがやりがいです」
- ⑧ 宇都宮さん(市立病院理学療法士)「人を相手にする仕事なので、常に多くのことに気を付けています」

須木小 人権教室

井野さん・中島さん(人権擁護委員) 長井さん(市民課)



人権週間に合わせ、1~3年生と4~6年生に分かれて実施。学校裏サイトの掲示板への心ない書込みを扱ったアニメ「自分の胸に手を当てて」を視聴し、内容を振り返りながら、どんな時でも相手の気持ちを考えることの大切さを学びました。

4~6年生は、いじめや同和問題、人種差別、LGBT についてのお話も聞きました。

6年生 租税教室

寺田さん・菊野さん(小林県税・総務事務所)



税金の種類についての説明を聞き、税金がない世界を描いたアニメを見て、税の役割について考えました。

【お話より】高校を卒業するまでに、約1,145万円の税金が使われます。ここにいる6人で、約7千万円です。金額の大きさを感じてもらうために、1億円持ってきました。

【クイズより】◆ 税金の使い道を決めるのは国会です。

- ◆ 税金を納めるのは、豊かで安全な生活をするため。
- ◆ 消費税率が一番高い国はハンガリーで、27%です。
- ◆ 外国にはソーダ税やポテトチップス税もあります。(国民の健康を守るため)

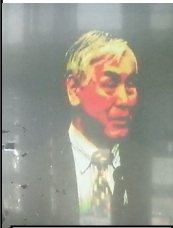
【質問の答より】◆ 社会保障などの歳出が増えて税金が上がることもあります。◆ 県によって人口が違うので、国がお金を出して、サービスが不公平にならないようにしています。



裏に続きます。

細野中

西諸みんなで人権について考える取組



竹内昌彦さん



人権とは「一人ひとりを大切にすること」。そんな願いがこもったビデオです

【具体的な取組】① 学校で学ぶ(本時):講演のDVDを視聴しました。② 家族で考える:資料や感想文を持ち帰り、授業で学んだことや感じたことを家族に伝え、人権の大切さを家族で語り合いました。(家庭への依頼文書を配布)③ 学校で深める:可能な範囲で、家庭からの返信を紹介したり、通信等で取りあげたりしました。

【竹内昌彦】1945年生。幼少期、病気により全盲となる。岡山県立盲学校の元教頭。在職中から20年にわたり、各地で「いじめ」や「命の大切さ」をテーマに講演活動を行い、その数は2000回を超える。今回のお話は、見えないからこそ見てきた「生きる意味」「命の尊さ」「感謝の思い」など

1年生 福祉体験(秀峰高校)

移乗サポート ロボット Hug(ハグ)



介護の魅力発信事業
(県長寿介護課)



最初は福祉科2年生によるプレゼンテーション。クイズも交えながら、高齢化の現状や介護の必要性、福祉を学ぶ楽しさについて聞きました。福祉系高校間で行われる「介護技術コンテスト」の様子も再現してもらいました。

その後は「高齢者疑似体験」と「福祉用具体験」。中学生たちは、最新の介護ロボットの性能に驚き、高校生が生き生きと活動する姿を熱心に見つめていました。

東方小 リサイクルの学習(オンライン)

4年生



異物は手作業で除去

埼玉県の「リサイクル・プラザJB」とのオンライン授業。カン、びん、ペットボトルがリサイクルされる様子を生中継で見た後、なぜリサイクルが必要なのか、リサイクル時の問題点などの説明を聞き、自分たちにできることを考えました。終わりに、復習を兼ねてクイズにも答えました。

【質問への答えより】◆ スチール缶は1か月で53トン集まります。◆ 一番多いのはペットボトルです。◆ 飲み残しのペットボトルが、10月には19万8千本ありました。

【感想より】◆ リサイクルのことがよく分かったので、しっかり分別したいです。◆ ペットボトルとカンのリサイクルのことがよく分かりました。



野尻中 人権についての学習(オンライン)



桑名勇輝さん

桑名さんは北海道在住。専門は情報コミュニケーションです。

【お話より】◆ 中学生は性犯罪に巻き込まれるケースが圧倒的に多いです。◆ 「旭川女子中学生いじめ凍死事件」は「いじめ」という言葉で片付けられない「犯罪」です。◆ トラブルに巻き込まれたら、「スクリーンショットで証拠を残す」「大人に相談」「状況によっては警察・弁護士等に頼る」。◆ 現実世界でやってはいけないことは、ネットの世界でもやってはいけません。

【感想・お礼より】◆ 被害者が多くいることを改めて知り、自分でも気をつけていきたいです。◆ 正しい使い方と他人への思いやり、人権を意識して使っていきたいです。

三松小 冬のおはなし会

わたぐも絵本の会



真っ赤なお鼻の～



あなたの斧
ですか?



三松小読み聞かせサークルが3年ぶりに開いた昼休みのおはなし会。参加は自由です。子どもたちは検温と消毒を済ませて体育館に入りました。内容は…

- ★ スクリーンを使った読み聞かせ
- ★ 人形劇「十二支のお話」
- ★ 紙芝居「こまったサンタの実例集」
- ★ 劇「金の斧、銀の斧」
- ★ 歌のプレゼント

10名ほどの保護者の皆さんが午前中から準備をしていました。おはなし会が始まると子どもたちは大喜び。時には真剣な表情で、時には笑いや手拍子とともに、約30分のプログラムを体全体で楽しんでいました。

紙屋小 薬物乱用防止教室

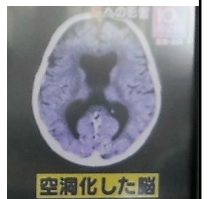
6年生



担任の先生が板書を担当。大切な部分は、子どもたちを集めて確認しました。

講師は学校薬剤師の鳥浜さん。仕事についての説明の後、スライドを使って、酒、たばこ、違法薬物の体や心への影響についてお話してくださいました。

子どもたちは、途中、保健の教科書も参照しながら熱心に学んでいました。



空洞化した脳

【お話より】◆ 薬物は1回でも始めると自分の意志ではやめられません。◆ 生活に多くの悪影響がでます。周りの人を巻き込んで迷惑をかけた、重犯罪に繋がったりすることもあります。◆ 知人やたとえ友人に誘われても、はっきり断り、絶対に手を出さない勇気をもつことが大切です。



School Volunteer KSSVCだより

Kobayashi Support Center

学校向け

小林市教育委員会社会教育課 KSSVC 事務局 (TEL:22-7912)

実践記録集の原稿を提出していただき、ありがとうございました。編集作業を行いながら、各学校の文章と写真を見ては、1年を振り返っています。取材できなかった活動もありますので、新しい発見に出会うとうれしくなります。記録集は、まもなくお届けします。



須木中 暮らしの困り事助け隊

主催:社会福祉協議会須木支所



年末恒例の活動。社会福祉協議会須木支所の呼びかけに応え、毎年、全校生徒が参加しています。ふるさと会館で約1時間、前田さん(支所長)と鳥越さんによる「ボランティアの学習」を受講した後、3班に分かれて3軒の住宅を訪問。生徒4~5名に地域のサポーターが2名ずつわり、ガラス拭きや落ち葉掃きを1時間ほど行いました。

活動後、ふるさと会館で修了証明書をもらい、全員が感想を発表しました。サポーターの皆さんが所属する団体の活動についてのお話も聞きました。

【感想より】 ◆ ボランティアの楽しさが、少しは味わえたかなと思います。 ◆ メンバーと協力できました。他のボランティアもやってみたいです。 ◆ 3年間、いろいろなボランティアができました。 ◆ サポーターさんとも話ができました。おばあちゃんと住んでいるので、この経験を生かしたいです。 ◆ わからないことを先輩たちが教えてくれました。 ◆ 協力して楽しくできました。 ◆ 来年も頑張りたいです。

【協力していただいた団体等】 ボランティア連絡協議会 民生委員・夏木地区友愛クラブ・社会福祉協議会

小林小 UMK オンライン授業

5年生



最初に、テレビ局の仕組や仕事についてのVTRが流され、その後、3名ずつ9名のクラスの代表が質問をしました。紹介の映像と永井アナの回答は大変分かりやすく、さすが、「情報を伝えるプロ」という印象を受けました。

代表児童の質問は、「知りたい!」と思うものばかりで、子どもたちはメモを取ったり、うなずいたりしながら楽しく学んでいました。



【説明と質問の答より】 ◆ ニュースの原稿は20分前に届き、読み方やアクセントを書き込みます。内容を理解し、伝えたいという思いを含め、カメラの一部に映る原稿を、正面を向いて読みます。ニュースを通して社会や宮崎を知り、住んでいる所に興味をもって、宮崎を好きになってほしいです。

◆ 通常の勤務は9:30~18:00。記者やカメラマン、アナウンサーはシフトが違います。 ◆ 1時間番組では編集に3日。3組で3つのVTRを作り1本にします。取材は、普通3~4人。20人くらいになることもあります。 ◆ (情報を得る方法) 「お知らせ」で届く。事件や事故は記者が取材。視聴者からの情報。SNSで知り、取材したりもします。 ◆ 緊急時には夜中に出社することもあります。 ◆ ニュースの順番は、大事なもの、関心が高いものから、担当のデスクが決めます。 ◆ アナウンサーは、ロケ(お店の紹介やさまざまな体験)、CMやナレーション、イベントの司会、読み聞かせなどもしています。画面に出ている時間以外の方が長いです。



◆ UMKは、ウルトラ・ハイ・フリクエンシー(極超短波)宮崎株式会社の略です。

【お礼の言葉】アナウンサーやいろいろな人の仕事分かりました。これからも大切な情報を伝えてください



細野中 薬物乱用防止教室

山口凌(りょう)さん 小林保健所衛生環境課(薬剤師)



保健室からオンラインで行いました。

【自己紹介】2016年に宮崎県庁に入り、県立日南病院で病院薬剤師として勤務後、2021年、異動で小林に来ました。秋まつりでは、保健所と市内の薬剤師さんたちで、薬物乱用防止のパレードに参加しました。新型コロナの対応の他、学校の「水辺の学習」なども行っています。

【主な内容】① 自己紹介・保健所の紹介 ② 薬物依存・乱用ってどういうことだろう? ③ 薬物の種類と危険性 ④ 薬物乱用に陥らないためには?

【山口さんより】自分と大切な人の人生を台無しにしないためにも、日々の生活を大切にしてください。今は不自由な毎日ですが、進路を決める日が必ずやって来ます。自分の強みに気づき、可能性を広げてほしいと思います。支えてくれる人を大切に、人生を大切に!

お話の中で、保健所と薬剤師の仕事のことや、前任地(日南)の海の写真も紹介してくださり、生徒たちは興味深そうに聞き入っていました。最後に感想を書き、授業を振り返りました。

【お礼の言葉】お話を聞き、怖さがわかりました。薬物は絶対に使いません。



裏に続きます。

永久津小・中・保育園 そば打ち

【協力】JAこばやし北支所



混ぜて



こねて

そば打ち名人の倉菌さん



伸ばして



切って



いただきます！

食育の一環として毎年実施しています。はじめに北支所長の坂元さんが、「小林産、完全無農薬のそばをぜひ味わってください」とあいさつ。昨年の9月、みんなで種をまきましたが、育ちかけた苗が台風で流され、地域の方にそば粉を提供してもらいました。

6年生と中学1年生は同じグループで、少し低めのテーブルでは、年長組の園児たちが、大人に手伝ってもらいながら懸命に作業をしていました。

ゆがいて水でしめた後、JA婦人部の皆さんが作ったつゆをかけておいしくいただきました。

須木小 非行防止教室

5・6年生



講師：都城少年サポートセンター少年補導職員・
県警スクールサポーター

○×クイズに答えています



薬物乱用の防止について考えました。スライドや動画で、薬物の種類、薬物乱用が心身に与える影響などを学んだ後、どんなに勧められても断る勇気が大切であることを確認しました。身近にあるたばこやアルコールの害についても教えてもらいました。

【まとめ】薬物に手を出さないためには

- ① 薬物の正しい知識
- ② 良いことと悪いことを見分ける力
- ③ 勧められたときに断る勇気

断り方のポイント
「はっきり、きっぱり！」
・何回さそってきても、はっきりと態度を変えずに。
・すぐに立ち去る。
・話題を変える。
・迷っている姿を相手には見せないようにする

三松小 手話教室

講師：手話通訳者派遣協会



5年生



飛行機



3クラスに2人ずつの講師の皆さんを迎えての学習です。前半は、聞こえない人の生活と伝える方法について学び、あいさつなど、基本的な手話の練習をしました。後半は、指文字を使って自己紹介。3年生でも習ったので、全員が、名前と誕生日を上手に発表できました。

南小 台湾の小学校と交流

6年生



萬富小 6年生



お年玉は赤い袋



外国語科 “Welcome to Japan”



校長先生(萬富小)

3回の交流学习の最終回。初めに、南小の6年生がグループごとに英語で小林市を紹介。萬富小からは、旧正月(春節)にちなんだ絵や習慣、食べ物などを紹介してもらいました。途中、台湾交流コーディネーターの黒木さん(西都市)から、台湾の文化についての説明もありました。

- 【紹介した小林市の「自慢」】 ◆ 特産品の栗
◆ 生駒高原のコスモスやポピー
(クイズ形式で) ◆ 日本一の牛肉
◆ 韓国岳や豊富な天然水



School Volunteer KSSVCだより

Kobayashi Support Center

学校向け

小林市教育委員会社会教育課 KSSVC 事務局 (TEL.22-7912)



目標は金メダルと良い成績。その手段として日々の練習や勉強があります。そして、私の目的は人生最高のパフォーマンスをすることです。
小平奈緒：2018平昌オリンピックスピードスケート500m 金メダリスト

1月に文化会館で開催された講演会のお話から紹介します。小平さんは、昨年暮れに競技生活に終止符を打ちました。今は、「最高のパフォーマンス」のためにやるべきことを考えているそうです。子どもたちと一緒にできることがあれば、とおっしゃっていました。

学びを通して人と繋がることを優先し、信州大学で競技を続け、卒業後は実業団ではなく、大学で後輩たちと練習する道を選びました。最初は一緒にトレーニング室を手作りすることから始めたとか。

「順位や成績で人の価値は測れない。それまでの生き方や練習に向き合う姿勢が大切」という話もされました。

年度の終わりに際し、地域学校協働活動とKSSVCの目標や目的について、改めて考えています。

細野小 昔の道具体験

【指導】ガイドボランティア協会・社会教育課



3年生



昭和初期の道具を実際に使ってみました。もち米を粉にし、アイロンをかけ、暗い所を照らしたりしながら、昔の生活を想像し、人々の知恵や工夫を学びました。当時の子どもたちは家の貴重な働き手でした。

- ① かるい(背負いかご) ② 石臼
- ③ 背負子(しよこ) ④ 炭火アイロン

⑤ がん灯 ⑥ 黒電話 ⑦ みの 他にも、のこぎり、斧、下駄、わらじ、七輪を体験しました。

【感想より】◆ 楽しかったです。こういうことを知っている人はすごいと思いました。◆ 昔の道具のことがよくわかりました。◆ 昔の人は大変だったけど、知恵が働くなと思いました。◆ 楽しくできて本当に良かったです。

東方小 歴史民俗資料館見学

3年生



炭火のこたつです

【指導】ガイドボランティア協会・社会教育課

昭和初期の民家が再現されたコーナーで、井上さん(社会教育課)から、当時の生活や道具についての話を聞きました。館内の見学をした後は、昔の道具を体験。斧で薪を割ったり背負子を背負ったり、10種類以上の道具に触れながら、昔と今の生活について学びました。

避難訓練

細野中

訓練日時を知らせずに実施しました。



主体的に考え、判断して避難することが目的の一つです。生徒たちは、突然の「火災発生!」の放送にも慌てることなく、整然と運動場に避難。校長先生からは「訓練でできないことは本番でもできません」との話がありました。

訓練後は、避難の様子を振り返ると共に、大阪消防局作成の動画「教えて防災」を視聴しました。

須木小



「理科室から出火」の放送で、鼻と口をハンカチで覆い、低い姿勢で体育館へと迅速に避難。担当の先生と校長先生の話の後、教室で、避難の仕方や消火器の使い方を動画で確認しました。【校長先生より】延岡では、訓練の成果が命を救った例があります。今日はみなさんの訓練であると同時に、先生方にとっての訓練でもありました。

裏に続きます。

給食感謝集会

野尻小



保健・給食委員会が進行をしてリモートで実施。給食に携わる方々への感謝の書きを学年ごとに紹介した後、栄養士の八重尾先生の「給食ができるまで」のお話。委員会による紙芝居「ありがとう！はやね はやおきあさごはんマン」もあり、メンバーの熱演に、各学級から大きな拍手が起こっていました。

紙屋小



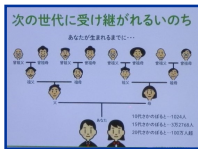
八重尾先生への質問、給食ができるまでのVTR、給食委員会の発表が主な内容です。質問コーナーでは、事前にいただいた答えを黒木先生が紹介しました。委員会の発表では、給食の歴史を写真で紹介した後、「感謝の気持ちをこめて、残さず大切にいただきます」のメッセージを、全校児童に届けました。

野尻中 性教育講話

1年生



中間麻美さん(助産師: 宮崎か母 ちゃっ子くらぶ・都城医療センター)



0.1 ミリほどの小さな穴が受精卵の大きさ

この中の誰か一人でもいなければ、皆さんはこの世に存在しません



3キロあります



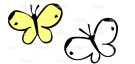
中間さんは、受精卵から誕生まで、出産の苦労と喜び、思春期の特徴など、ご自身の体験も交えながら、お話してくださいました。妊婦体験もあり、代表の生徒は靴下を履けずに手伝ってもらいました。「大変でした！」と感想。「思春期は世界が広がり悩みも増える時期。だから、自分や相手のことを知り・考え・認め合うことが大切です」と、アドバイスをしてくださいました。

【主な内容と中間さんからのメッセージ】

- ◆ 助産師の仕事 ◆ 生命の誕生 ◆ 二次性徴と心身の変化 ◆ 男子と女子の心の違い ◆ SNSとの付き合い方 ◆ 多様な性について ◆ 身につけてほしい力
- ◆ みんな望まれて生まれてきました。いらない「生命」はありません。生きていれば十分素晴らしい ◆ 生き生きとした人生 自分らしく生きる ◆ 今の自分を大切に！
- ◆ あなたの人生を応援しているたくさんの方がいます。

手話の学習

三松小 3年生



手話の拍手

自己紹介

指文字



南小 3年生

あいさつ

ジェスチャーゲーム

自己紹介

両校とも、指導は手話通訳派遣協会の皆さん。耳の聞こえない人の生活や伝え合う方法(手話・筆談・口の動き・表情・ジェスチャー・補聴器・指文字など)について学習。手話のあいさつと名前の指文字も教えてもらい、自己紹介に挑戦しました。

栗須小 みどりの啓発活動【募金活動】



ありがとうございます

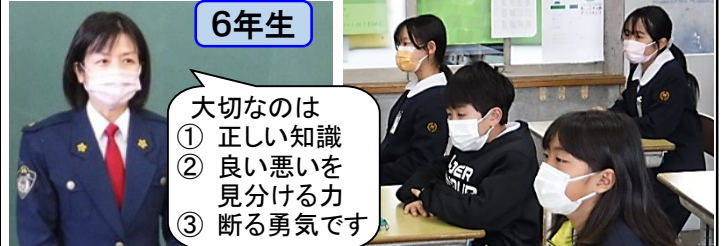
がんばってね!

4年生

4年生は、全員が「みどりの少年団員」。校庭の清掃や花壇の手入れ、一人一鉢運動、森林体験などを行っています。この日は、4、5人ずつに分かれ、スーパーや野尻支所など4か所で募金活動をしました。「森や緑を守る活動をしています」と大きな声で呼びかけると、次々に人がやって来て、子どもたちは、募金のお礼にヤエヤマブキなどの苗をプレゼントしました。

西小林小・幸ヶ丘小 薬物乱用防止教室

6年生



- 大切なのは
- ① 正しい知識
 - ② 良い悪いを見分ける力
 - ③ 断る勇気です

講師は堀之内さん(都城少年サポートセンター少年補導員)。クイズを交えながら、スライドと動画を使って、薬物の種類、心身に与える影響について教えてくださいました。

薬物を乱用すると...
自分だけの問題ではなく、周りの人を悲しませたり、めいわくをかけることとなります!

両校の子どもたちは、真剣な表情で聞きながら、どんなに勧められても断る勇気が大切だということを確認しました。身近にあるたばこやお酒の害についても、教えてもらいました。



School Volunteer
KSSVC だより
Kobayashi Support Center

学校向け

小林市教育委員会社会教育課 KSSVC 事務局 (TEL.22-7912)

三松小であった「6年生へのおはなし会」(主催:わたぐも絵本の会)でのこと。10名ほどが参加した中で、「卒業する」メンバーが初めての方に、紙芝居や人形劇について説明をしていました。活動を共にすることで引継ぎしていたのですね。



「ボランティアの固定化と高齢化」が本市の課題です。さまざまな方法で地域の人材を確保し、活動を引き継いでいくことが求められています。

立志式(立志の集い)

野尻中 2年生



生徒が手にしているのは、自分の名前を織り込んだ志。「聡明叡智、真っすぐに生きる」や「知る者は惑わず。千里の道も一歩から」などの文章が、独特の書体で書かれていました。名前に込められた親の願いを、改めて感じたことでしょう。



野尻小 歴史民俗資料館見学

3年生

一人ずつ決意を表明した後、全員で立志の誓いを述べました。記念講演は宮崎在住のタレント、日野誠さん。光GENJIに憧れ、高校卒業後に上京した体験を始め、これまでの人生から得た教訓を、中学生へのメッセージとして届けてくれました。終わりに「自分が幸せに生きるためのパラダイス銀河を見つけよう」でお話を締めくくりました。



マッチの使い方
も習いました。



昭和初期の民家



説明は小林市ガイドボランティアと社会教育課

昔の人々の生活や道具の話聞いた後、がん灯や背負子(しょいこ)など、いろいろな道具の役割と使い方を教えてもらいました。子どもたちは活動を通して、古い道具には、その時代をきた人々の知恵や知識があふれ、現代の生活にも大きな影響を与えていることを感じ取ったことでしょう。

三松中 2年生

祝 立志式



「立志の集い」の後には、6か所に分かれて職場体験学習発表会。保護者は資料にあるQRコードをスマホで読み込み、我が子の活動の写真や感想を見ていました。

この日は参観日。1年生は「13歳のハローワーク」発表会、3年生は保護者と一緒の情報モラル教室がそれぞれ行われました。



保護者が学校行事に出席できるようになり、生徒の発表意欲や達成感が、より高まったことでしょう。野尻中、三松中、細野中とともに、決意表明には個人の夢や目標に加え、家族への感謝や地域への貢献といった内容もあり、頼もしく感じました。一人ひとりの決意が、これからの地域を変えていく力になることを願っています。

南小 薬物乱用防止教室・情報モラル教室



南小出身です

エ〜っ!

溝俣さん:小林警察署生活安全課

薬物については15分ほどのDVDで、種類や心身への影響について学びました。ラットの異常行動(実験)や薬物乱用者が描いた絵や手紙も紹介されました。後半は、最近起きたSNS関連の事件を例に、ネットに文章や写真を載せる時の注意、本人が特定される危険(制服や写真の背景)、炎上の怖さ、小林市の事例などの話があり、子どもたちは真剣な表情で聞いていました。

東方小 小林市の植物とオオヨドカワゴロモ 4年生

県内の植物は2,800種類。
その内、霧島山全体で
1,400種類が見られます。



黒木秀一さん（県総合博物館）



ノカイドウの
実。リンゴの
仲間です

ゴミの学習に続いて、今回は
小林市の環境について学びまし
た。黒木さんは植物の専門家。
霧島の植物を、たくさんの写真と
ともに紹介してくれました。

その後、旧岩瀬橋近くのオオヨ
ドカワゴロモの自生地へ。近くで観察をした後、ほうきで
岩の泥を取り除き、たくさんのゴミを拾いました。

【お話より】 ◆ 霧島山の大きな赤松が2本、東大寺大仏殿
の柱に使われています。 ◆ 絶滅の恐れがある植物を守る
方法は？ ①何もしない。②人の力で守る。③安全な所に動
かす。3つとも正解です。 ◆ 世界で小林にしかないオオ
ヨドカワゴロモを守るには？ 水を汚さない。ゴミを流さない。
工事や農作業に気をつける。

紙屋中 キャリア教育講演会

魅力的な大人
になるために



岡根芳樹さん



ソーシャル・アライアンス
株式会社代表取締役社長

岡根さんは企業や組織に
即効性のある研修を提案して
いる会社の社長さん。成果に
こだわった人材育成研修に
は定評があります。若い頃
には劇団を主宰、現在は絵本
作家の顔ももっています。

生徒たちと楽しくやり取りを
しながら、言葉の使い方や感
謝の心についてお話してくだ
さいました。

【お話より】 ◆ 体が食べ物でできているように、心は言葉
でできています。悪い言葉は、相手の心だけでなく自分の
心も痩せさせます。 ◆ 知らないうちに使っている悪い言
葉は「しんどい」「難しい」「大変」「めんどくさい」など。心か
ら栄養を奪い、心を枯れさせる言葉です。心が枯れる言葉
は人のやる気をなくし、受け身にさせます。 ◆ 能動的にな
る方法は解釈力です。事象は解釈によって、プラスにもマ
イナスにもなります。「しんどいから、おもしろい」「難しいから、おもしろい」のよ
うに、「～から、おもしろい」をつけると能動
的になります「おもしろい」と言いながら
能動的になれる人は人生無敵です。

【お礼の言葉】 感謝の気持ちを忘れず、
心が枯れた時には、「しんどいからおもしろい」と思っていきたいです。



思い出づくりの「読み聞かせ」

小林小 卒業生に向けてのお話会



【くすの木文庫・市立図書館】 ◆ブックトーク ◆教科書クイ
ズ ◆ストーリーテリング ◆大型パネルの読み聞かせ
◆ペープサート(紙の人形劇) ◆朗読劇 他

三松小 6年生へのおはなし会



【わたぐも絵本の会】 ◆詩の朗読 ◆教科書・歴史クイズ
◆ペープサート ◆紙芝居 ◆絵本の読み聞かせ
◆(安全な中学校生活を願って)「手作りお守り」の贈呈 他

小林小は体育館で、三松小は学級ごとに音楽室で実
施。サークルの皆さんの「6年間聞いてくれてありがとう」、
6年生の「6年間、楽しい読み聞かせをありがとうございました」の
気持ちがこもった温かな雰囲気での会でした。
中学校でも読み聞かせが待っています。

幸ヶ丘小 国際交流

トニーさん(国際交
流員:ドイツ出身)



「宝箱ゲーム」や「ビンゴゲーム」を通して、ドイツの文化
や言葉について学びました。子どもたちは、クイズで得点
したり、ビンゴが揃うたびに大喜び。教室は大いに盛り上
がりました。最後は、体を動かす「ウイंक」というゲームを
教えてもらい、一緒に楽しんで交流を深めました。

この1年、各学校の特色、小林市の人や自然、歴史な
ど、たくさんの魅力に触れることができました。訪問の際
は丁寧に対応していただき、ありがとうございました。
皆様の次のステージでのご活躍をお祈りしています。